

2023年10月27日

日清製粉グループ 第2四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想

製粉事業及び中食・惣菜事業が業績を牽引し、大幅な増収増益。通期業績予想を上方修正。中間配当および年間配当予想を直近予想より1円増配。

[2024年3月期第2四半期連結累計期間決算]

売上高	4,268億81百万円	(前年同期比109.8%)
営業利益	255億11百万円	(前年同期比160.3%)
経常利益	265億11百万円	(前年同期比153.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	184億46百万円	(前年同期比 —)

(株)日清製粉グループ本社(取締役社長:瀧原 賢二)の2024年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は、製粉事業における国内の麦価改定に伴う小麦粉価格改定の実施、熊本製粉株式会社の新規連結効果及び食品事業や中食・惣菜事業での製品価格改定の実施等により、4,268億81百万円(前年同期比109.8%)となりました。営業利益は、各事業において前期にコスト上昇に対して価格転嫁が遅れた部分も含めた価格改定を実施するとともに、製粉事業における熊本製粉株式会社の新規連結効果、国内における副産物のふすま販売価格の堅調な推移、豪州製粉事業の前期の減損損失計上に伴うのれん等の償却費の減少及び中食・惣菜事業の堅調な業績等により、255億11百万円(前年同期比160.3%)、経常利益は265億11百万円(前年同期比153.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は184億46百万円(前年同期は377億95百万円の純損失)となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、株主の皆様のご支援、ご期待にお応えするため、第2四半期決算の状況等を勘案し、直近予想より1円増配の1株当たり21円とさせていただきます。

[2024年3月期通期連結業績予想]

売上高	8,500億円	(前期比106.4%)
営業利益	460億円	(前期比140.1%)
経常利益	470億円	(前期比142.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	300億円	(前期比 —)

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの売上高・利益の変動、および下期の見通しや前提となる為替換算レートの変更等による影響を反映し、売上高は8,500億円(前期比106.4%)、営業利益は460億円(前期比140.1%)、経常利益は470億円(前期比142.2%)、親会社株主に帰属する当期純利益は300億円(前期は103億81百万円の純損失)と、本年5月10日に公表した当初の予想を修正しております。

なお、当期の中間配当を直近予想より1円増配の1株当たり21円としたことにより、年間配当予想を直近予想より1円増配の42円とさせていただきます。これにより前年に比べて2円の増配、当初の予想通り実質11年連続の増配となる予定です。